



青森県感染症発生情報 (2018年第17週)

I 第17週の発生動向 (2018/4/23~2018/4/29)

1. インフルエンザについては、上十三保健所管内で**注意報**が**解除**されました。
2. 感染性胃腸炎については、五所川原保健所管内で**警報**が継続しています。県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態です。
3. 咽頭結膜熱については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。
4. 流行性耳下腺炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多く、特に三戸地方+八戸市保健所管内と上十三保健所管内では定点当たり報告数が他保健所管内より多い状態です。

II 第17週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東地方保健所+青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方保健所+八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減 数
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ	33	2.54	60	4.00	17	1.13	36	5.14	73	8.11	22	3.67	241	3.71	-152
小児科	RSウイルス感染症	4	0.50	2	0.22			3	0.60					9	0.21	1
	咽頭結膜熱	5	0.63	6	0.67	2	0.20	3	0.60	3	0.50			19	0.45	8
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	16	2.00	9	1.00	26	2.60	11	2.20	17	2.83	12	3.00	91	2.17	12
	感染性胃腸炎	34	4.25	88	9.78	109	10.90	120	24.00	43	7.17	26	6.50	420	10.00	74
	水痘	1	0.13	2	0.22	3	0.30	1	0.20	2	0.33	1	0.25	10	0.24	2
	手足口病			13	1.44	1	0.10							14	0.33	5
	伝染性紅斑															-2
	突発性発しん	4	0.50			9	0.90	2	0.40	5	0.83	1	0.25	21	0.50	-11
	ヘルパンギーナ															0
流行性耳下腺炎					10	1.00			9	1.50	1	0.25	20	0.48	-5	
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎	2	1.00			1	0.50							3	0.27	-5
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)			2	2.00	1	1.00	1	1.00	3	3.00	5	5.00	12	2.00	-6
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎											5	5.00	5	0.83	0
	無菌性髄膜炎															0

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

咽頭結膜熱 (五類定点把握対象疾患)

咽頭結膜熱は、数種のアデノウイルスによる急性ウイルス性感染症です。潜伏期間は5~7日で、発熱、のどの痛み、結膜炎といった症状がみられ、小児に多い病気です。本県における昨年の定点医療機関からの患者報告の90%は5歳以下で、特に1歳児が全体の約40%を占めていました。

咽頭結膜熱は、スイミングプールでの接触やタオルの共用により感染することもあるため「プール熱」とも呼ばれます。従来は、夏季を中心に流行していましたが、近年では、冬季の流行も顕著になっており、夏季と冬季にピークが見られています(図)。

感染力が非常に強く、患者が触れたタオルなどに触ることによっても感染する場合があります。予防として、感染者との密接な接触を避ける、手指の消毒の励行、タオルの共用を避ける、うがいをする、などが大切です。

咽頭結膜熱は高熱が比較的長く(5日前後)続くことがあります。特別な治療法は無く、基本的には対症療法となりますが、ほとんどは自然に治ります。吐き気、頭痛の強いとき、せきが激しいときは、早めにかかりつけ医を受診してください。

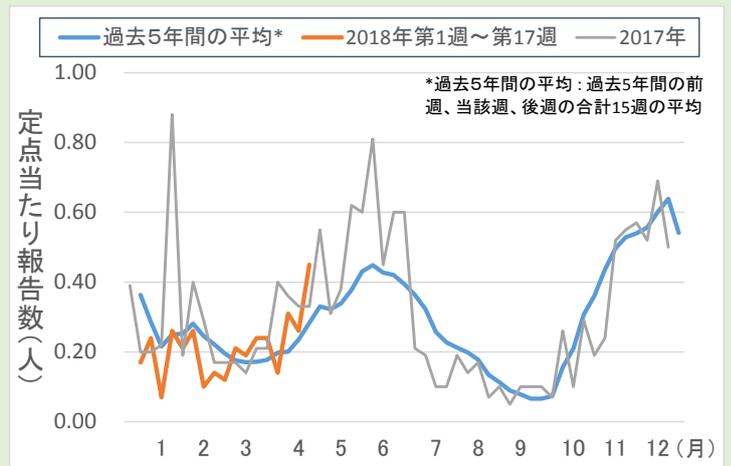


図: 青森県における定点当たり報告数推移 (2017年~2018年第17週)

○詳しい情報はこちらをご覧ください

☞ [咽頭結膜熱とは \(国立感染症研究所 HP\)](#)

🔍 プール熱 国立感染症研究所 検索



Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：弘前1人、五所川原1人、むつ1人（2018年計：57人）
- ・腸管出血性大腸菌感染症（三類全数把握対象疾患）：五所川原1人（2018年計：2人）

Ⅳ 病原体検出情報 ※（）内は、検査材料及び検体採取日です。

- ・感染性胃腸炎患者（ふん便、4/6）・・・ノロウイルス GII 型：青森市1人
- ・急性脳炎疑い患者（直腸ぬぐい液、4/5）・・・ヒトライノウイルス A：八戸市1人

Ⅴ 県内インフルエンザ情報（2018年第10週～2018年第17週）

- ・第17週の患者報告数は241人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは240人【A型：156人、B型：84人】でした。

保健所管内別報告数（人）

保健所名	10	11	12	13	14	15	16	17
東地方+青森市	221	223	172	114	79	77	78	33
弘前	192	188	135	111	94	126	90	60
三戸地方+八戸市	253	252	163	100	43	30	29	17
五所川原	133	71	80	87	91	130	58	36
上十三	159	174	162	110	54	75	114	73
むつ	114	76	58	31	23	20	24	22
合計	1072	984	770	553	384	458	393	241

A型（迅速診断キットによる型別）(人)

保健所名	10	11	12	13	14	15	16	17
東地方+青森市	106	150	93	72	46	51	65	26
弘前	73	97	63	69	65	102	81	51
三戸地方+八戸市	88	80	42	37	15	13	12	11
五所川原	60	24	27	52	73	103	42	23
上十三	41	56	94	48	22	31	43	27
むつ	35	37	29	14	21	14	20	18
合計	403	444	348	292	242	314	263	156

B型（迅速診断キットによる型別）(人)

保健所名	10	11	12	13	14	15	16	17
東地方+青森市	115	73	78	41	33	25	13	7
弘前	119	91	72	42	29	24	9	9
三戸地方+八戸市	160	165	116	61	28	16	16	6
五所川原	73	47	53	35	18	27	16	13
上十三	110	114	67	61	29	43	68	45
むつ	72	36	27	16	2	5	1	4
合計	649	526	413	256	139	140	123	84

年齢区分別(人)

年齢区分	10	11	12	13	14	15	16	17
～5ヶ月	1	1	1	3	2	0	1	1
～11ヶ月	6	8	12	4	9	4	10	2
1歳	47	30	28	19	17	26	25	9
2歳	42	38	25	18	10	21	14	12
3歳	58	38	39	15	16	41	21	5
4歳	67	61	35	21	20	31	21	9
5歳	75	46	34	31	26	35	18	6
6歳	72	58	32	28	16	14	18	13
7歳	39	49	40	27	11	20	16	9
8歳	55	37	26	19	0	9	13	7
9歳	31	53	39	18	10	6	7	5
10～14歳	166	158	115	53	22	36	35	41
15～19歳	48	44	24	16	13	14	23	11
20～29歳	21	35	31	21	26	19	20	7
30～39歳	60	41	54	33	29	34	23	18
40～49歳	64	62	50	48	34	26	22	24
50～59歳	60	64	40	44	27	28	22	18
60～69歳	63	66	66	61	22	30	34	17
70～79歳	44	51	41	32	31	21	13	8
80歳以上	53	44	38	42	43	43	37	19

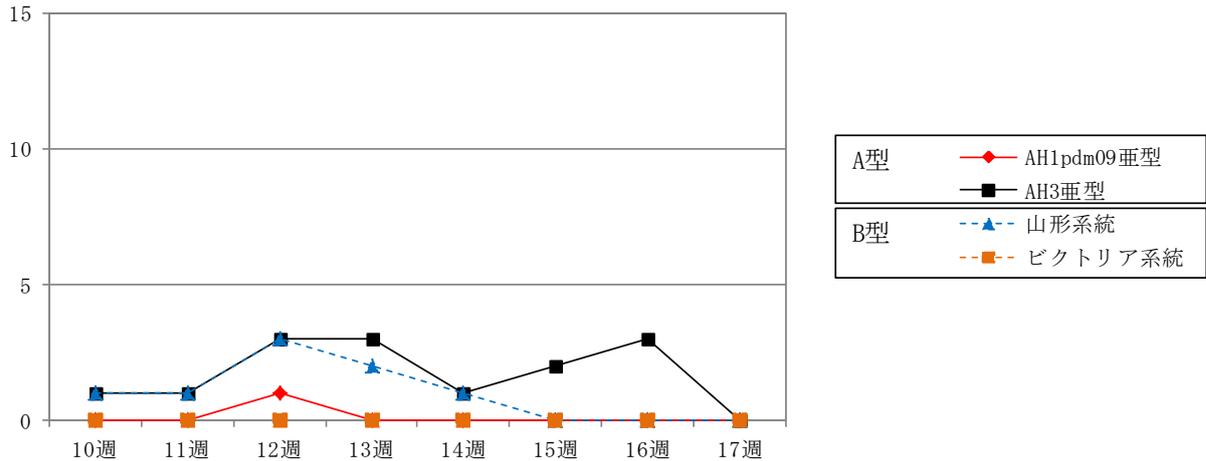
VI 県内インフルエンザウイルス検出状況（県が指定した医療機関（指定提出機関）の提出検体の検出数）

インフルエンザウイルス		2018							直近5週間 合計	2017/2018 シーズン 合計	
		10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週			17週
提出検体数		3	2	8	5	2	3	6 (3)	0	16 (3)	103 (3)
検出 状況	A型										
	AH1pdm09亜型			1						0	14
	AH3亜型	1	1	3	3	1	2	3		9	40
	B型										
	山形系統	1	1	3	2	1				3	33
	ビクトリア系統									0	0
合計		2	2	7	5	2	2	3	0	12	87

注1) 2017/2018シーズンは2017年第36週（9/4～9/10）～2018年第35週（8/27～9/2）

注2) 提出検体数に（ ）がある場合は、提出された検体のうち、現在検査中の検体数

件数 インフルエンザウイルス検出状況



VII 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2018年第14週～2018年第17週）

週	期間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
14	H30.4.2 ~ H30.4.8	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人	百日咳1人				
15	H30.4.9 ~ H30.4.15		侵袭性肺炎球菌感 染症1人 梅毒1人	クロイツフェルト・ヤ コブ病1人 百日咳1人			
16	H30.4.16 ~ H30.4.22			百日咳1人			
17	H30.4.23 ~ H30.4.29				腸管出血性大腸菌 感染症1人		

VIII 結核(二類全数把握対象疾患)（2018年第14週～2018年第17週）

(人)

週	期間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
14	H30.4.2 ~ H30.4.8		1	1			
15	H30.4.9 ~ H30.4.15		1	2		2	
16	H30.4.16 ~ H30.4.22	1	1	1	1		1
17	H30.4.23 ~ H30.4.29		1		1		1

Ⅹ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2018年第1週～2018年第16週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病
累積報告数	6180	2	58	214	15	7	114	199	1	3

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類
疾病名	Q熱	重症熱性血小板減少症候群	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	レジオネラ症	アメーバ赤痢
累積報告数	1	4	46	31	11	1	2	13	300	237

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症
累積報告数	44	480	272	6	60	263	357	27	146	14

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	1228	109	1795	48	19	13	1023	12	86	5

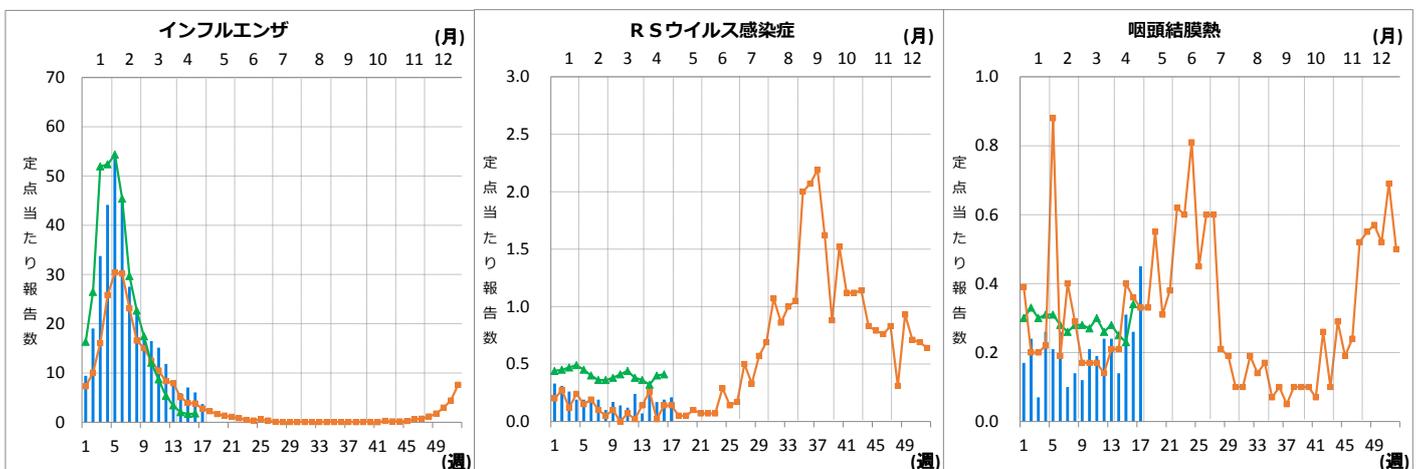
青森県（2018年第1週～2018年第17週までの累計）

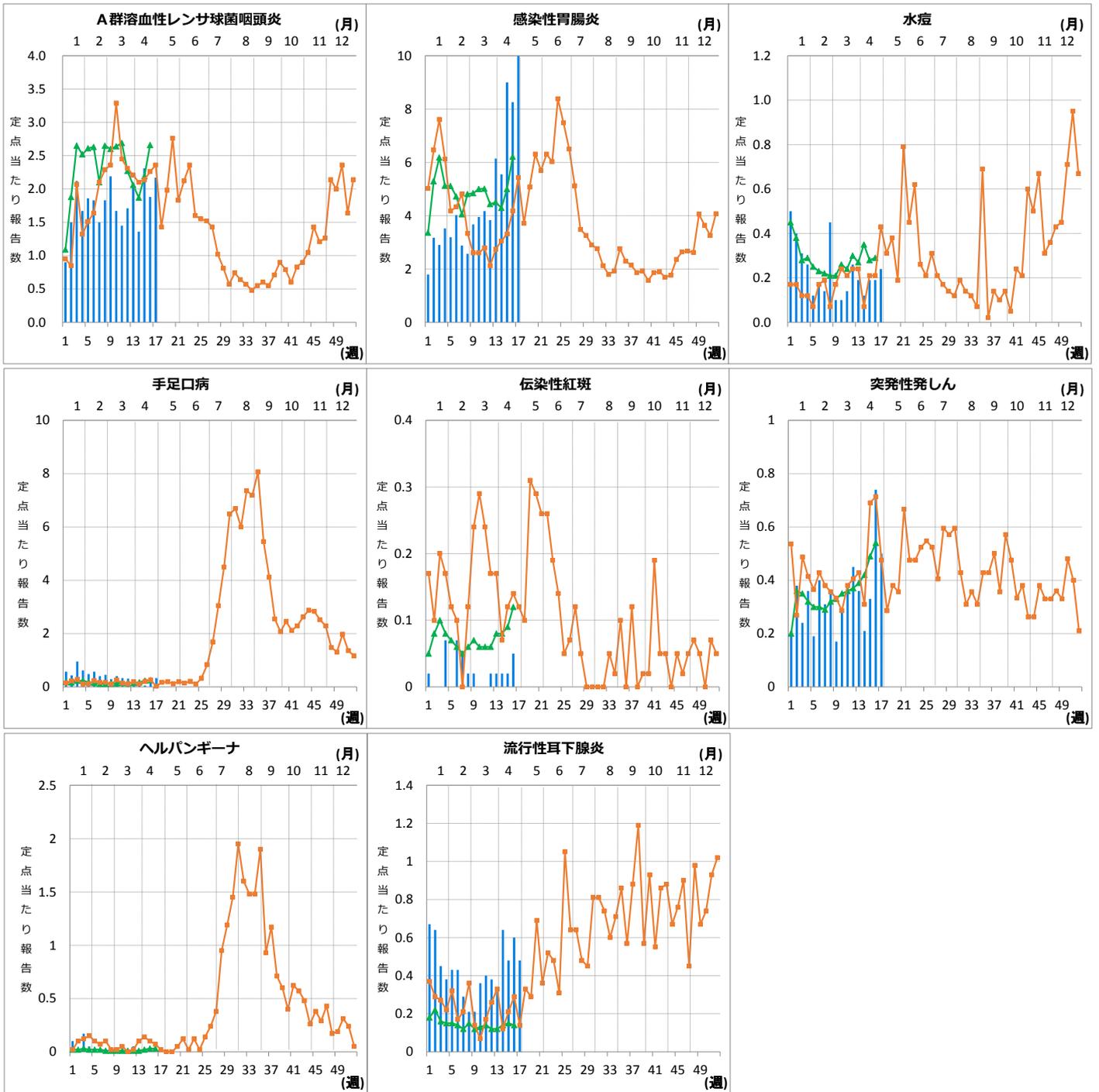
分類	二類	三類	三類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	A型肝炎	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	57	3	2	1	2	1	8	1	2	2

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳
累積報告数	1	5	1	14	2	14

Ⅹ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2018年第17週、ただし全国は前週）

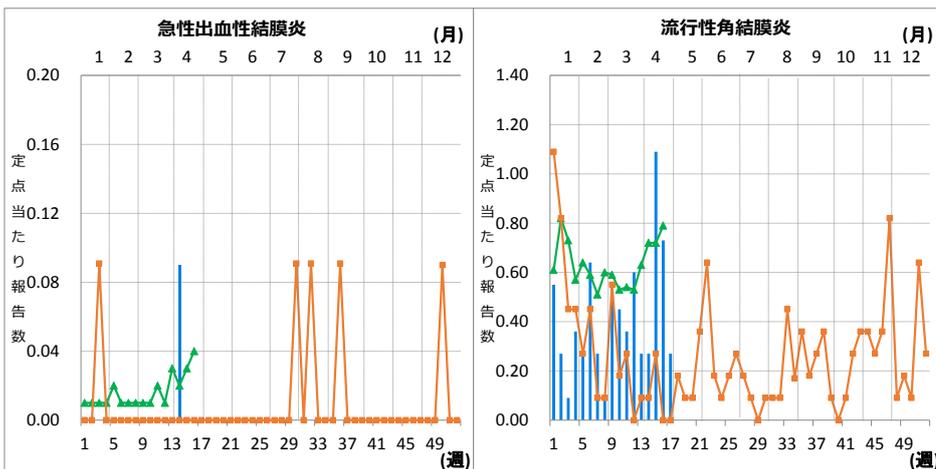
グラフの説明 —は2018年青森県、■——■は2017年青森県、▲——▲は2018年全国





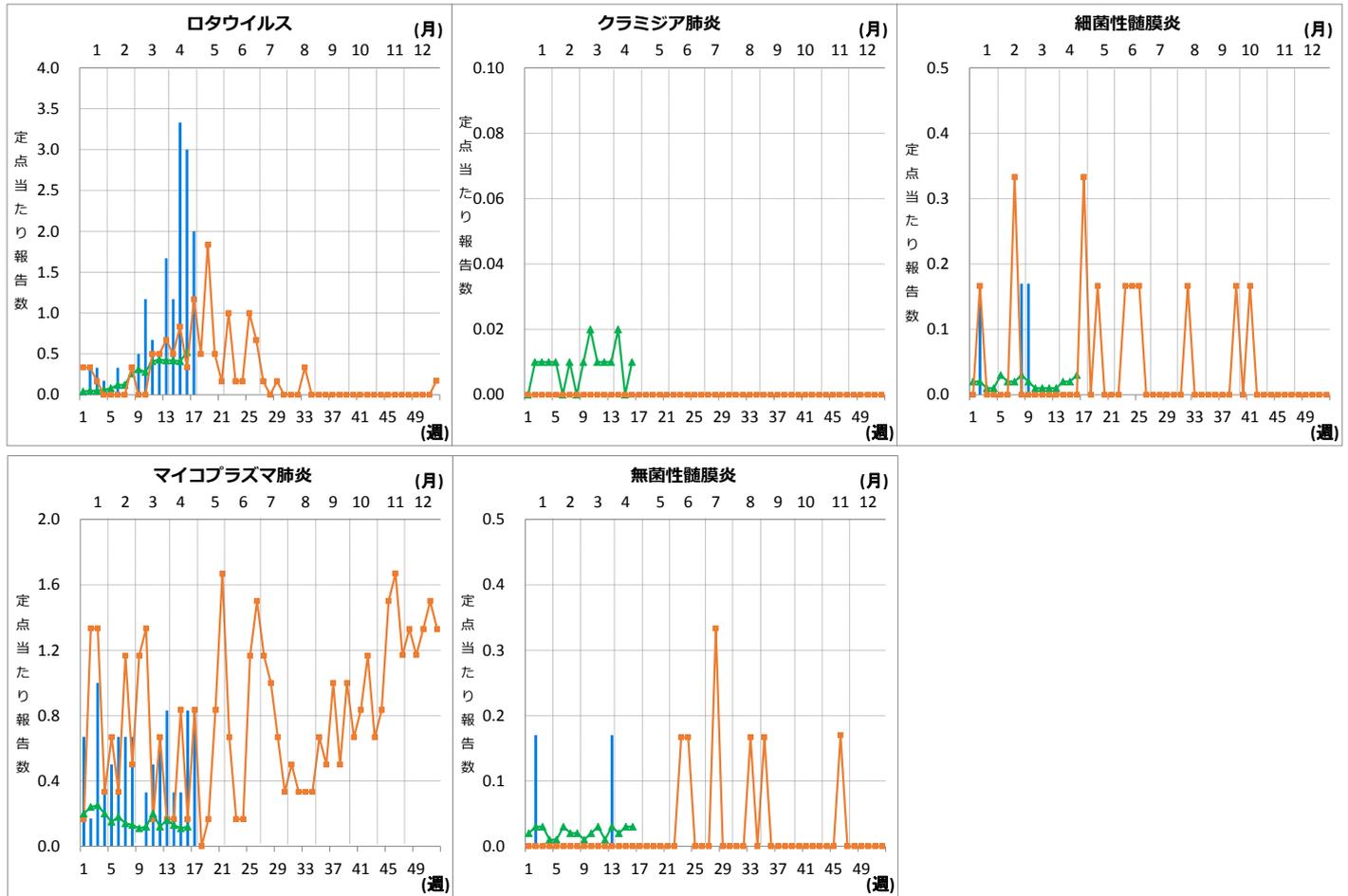
XI 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2018年第17週、ただし全国は前週)

グラフの説明 —は2018年青森県、■—■は2017年青森県、▲—▲は2018年全国



XII 基幹定点把握対象疾患週別推移（2018年第17週、ただし全国は前週）

グラフの説明 —は2018年青森県、■—■は2017年青森県、▲—▲は2018年全国



XIII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成30年第17週

報告はありませんでした。

平成30年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月		2月		3月		4月			計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13週	14週	15週	16週	17週		
介護・老人福祉関係施設	件数	2	0	2	0	0	0	0	0	0	4
	発症者数	34	0	36	0	0	0	0	0	0	70
児童・婦人関係施設等	件数	0	0	0	0	0	2	2	0	0	4
	発症者数	0	0	0	0	0	37	19	0	0	56
障害関係施設	件数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	22	15	0	0	0	0	0	0	0	37
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	3	1	2	0	0	2	2	0	0	10
	発症者数	56	15	36	0	0	37	19	0	0	163